

演劇サークルポテト

私には大好きな居場所があります。その名も「演劇サークルポテト」です。

私が演劇サークルに入った理由は「ずっと演技がしたかったから」という単純なものです。中学、高校ともに演劇部はなく、演劇部に憧れを抱いたまま気づけば大学生になっていました。入学してからしばらく経ち、インスタグラムで演劇サークルのアカウントを発見した時はやっと出会えたという気持ちでした。

安もありましたが、私が想像していたより未経験のメンバーも多く、何より経験者の先輩方や同級生が基礎練習や公演を行うにあたって必要なことを丁寧に教えてくださり、不安はすぐに消え去りました。

これまで大学祭や新入生歓迎会などで何度か公演を経験してきましたが、経験する度に演劇の面白さを感じています。まず、演劇を通して

何者にもなれることが魅力の1つです。医者に警察、お嬢様に恋するサラリーマン。22歳という年齢ですが、女子高生にだってなれちゃいます。妖怪や宇宙人魔法使いにだってなれるでしょう。

さらに、照明や音響、舞台装置、衣装などを考えることも作品の世界をつくり出す魅力的な要素です。舞台を裏側で支えるという経験を通して、観客のみならず、4年生3名、1年

生6名で活動しています。大学内での公演だけでなく、過去にはZEN-RAYホールでの公演や名寄警察署とのコラボなども行っています。今年の



大学祭では1年生が初の公演を行いました。今後も様々な楽しいことが待っているでしょう。演劇のことが少しなると思っています。是非1度公演を観に来ていただきたいです。

看護学科4年

佐竹和青